

練馬区立図書館ビジョンの策定にあたって

図書館は、区民が人生におけるさまざまな課題を解決する場として、また、心や生活を豊かにするための知恵があふれる場として、身近な情報拠点の役割を果たしてまいりました。

昭和37年8月に練馬区で初めて開館した練馬図書館は、昨年度50周年を迎えました。この間、区立図書館は12館が設置されましたが、情報通信技術の目覚ましい進展や急速な少子高齢化などにより、図書館に求められる役割は大きくなってきています。

教育委員会は、平成24年4月に組織改正を行い、図書館を含めた学校教育施策を担う教育振興部と、子育て関連施策を担うこども家庭部の二部となりました。これは、乳幼児期から青年期まで切れ目のない支援を進めていくものであります。

図書館では、子供の読書離れを防ぎ、子供の読書活動を推進するため「練馬区子ども読書活動推進計画」を策定し、現在、第二次計画に基づき事業を進めるとともに、平成24年5月に策定した「練馬区教育振興基本計画」において、学校への支援を充実することとしております。

また、平成21年12月に策定した練馬区基本構想における重点事業「ねりま未来プロジェクト」では、青少年の自立を支援するため、就労支援用図書の実践や図書館での職業体験、青少年向けの事業を推進することとしています。このことから、成長期における図書館の役割もまた重要なものとなってきております。

さらに、図書館で実施してきたブックスタートやおはなし会、読書への動機づけにつながる事業の実施や生活に密着した講座などは、利用者の皆様のニーズに合わせた事業展開が求められています。

このような状況を踏まえ、図書館がこれからも地域の情報拠点として、区民の皆様との活動・交流の場として、必要な情報が必要な方へ届けられるよう、本ビジョンを策定いたしました。

策定にあたっては、広く意見等をいただくため、平成24年6月に区民と有識者等による「これからの図書館サービスのあり方懇談会」を設置し、そこでいただいた意見等を尊重しながら検討を重ねるとともに、「区民意識意向調査」や「練馬子ども議会議員アンケート」等の各種調査結果も反映するように努めました。

ご協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本ビジョンの実現に向けて、区民の皆様からの一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成25年6月
練馬区教育委員会
教育長 河 口 浩

目次

第1章 練馬区立図書館ビジョン策定の概要	
1 策定の趣旨	1
2 位置付けと期間	2
第2章 これからの図書館サービスのあり方	
1 基本理念	3
2 これからの図書館サービスの方向性	3
(1) 情報発信拠点の機能の充実	
(2) 学校および子育て家庭などへの支援	
(3) 図書館の資料や人材の活用	
(4) 区民や地域との協働	
第3章 これからの図書館サービスに向けた取組	
1 項目別の取組	7
(1) 情報発信拠点の機能を充実します	
(2) 学校および子育て家庭などへの支援を拡充します	
(3) 図書館サービスの質の向上を目指します	
(4) 区民や地域との協働を促進します	
2 図書館サービスへの反映	10
資料	
1 平成24年度区民意識意向調査概要（抜粋）	13
2 これからの図書館サービスのあり方について（答申）	20
3 これからの図書館サービスのあり方懇談会設置要綱	27
4 これからの図書館サービスのあり方懇談会委員名簿	28
5 （仮称）これからの図書館サービスのあり方「練馬区立図書館ビジョン」 策定委員会設置要綱	29
6 （仮称）これからの図書館サービスのあり方「練馬区立図書館ビジョン」 策定委員会委員名簿	30
7 練馬区立図書館ビジョンの策定経過	31